

# WHO ファクトシート

## 電離放射線、その健康への影響と保護対策

Ionizing radiation, health effects and protective measures

2016年4月

### 重要な事実

- ・ 電離放射線は、電磁的な波又は粒子の形で原子によって放出されるエネルギーのひとつの形態である。
- ・ 人々は、レントゲンや医療機器のような人工の線源だけでなく、土壌、水、植物のような電離放射線の天然の線源に晒されている。
- ・ 電離放射線には、医療、産業、農業や研究での使用など多くの有益な利用法がある。
- ・ 電離放射線の利用が増えるにつれて、使用法や含有量が適切でない場合に健康を害する可能性が生じている。
- ・ 放射線量が一定レベルを超えたときには、皮膚の火傷や急性放射線症候群のような健康被害が起きる可能性がある。
- ・ 低線量の電離放射線は、がんのような長期的健康被害のリスクを高める可能性がある。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Ionizing radiation, health effects and protective measures ファクトシート原文は[こちら](#)